

総合的な学習の時間 「やさしい町 みやうち」

川崎市立宮内小学校



単元（題材）目標

- 福祉問題の解決や、よりよい福祉とは何かを考えるために取り組む。
- 様々な障がいについて理解を深め、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる

（1）実施時期

- ① 9月27日 ②10月2日 ③10月23日

（2）対象（学年等・人数）

第4学年 児童34名
小学校教員1名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第4学年所属 1名、
外部講師：①本校保護者（市内手話サークル所属）
②川崎市聴覚障害者情報文化センター 職員2名

（4）実施内容

- ①・聴覚障がいの原因や手話の種類について話を聞く。
 - ・手話体験（挨拶・自己紹介・声のかけ方等。）
- ②・センターを見学し、施設紹介のスライドを観る。
 - ・ろうの職員の方に、生活の中で困ることや、便利だと思うこと等をお聞きする。

（5）成果

- 手話を使って、簡単な挨拶や自分の名前を相手に伝えられるようになった。
- ろうの方に直接お話を伺うことで、聴覚障がいについての理解を深めることができた。
- 学んだことを、いろいろな人に伝えたいという気持ちが高まった。

（6）その他

- 11月の学習発表会で、学んだことを新聞にまとめて発表したり、実際に手話の体験コーナーを行ったりした。時間をかけて学習してきたものなので、児童も自信をもって取り組むことができた。